

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立中部西小学校

校長 小林 ゆかり

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

中部西小学校の子どもたちの健やかな成長と願いを支えるために、保護者や地域のニーズを把握しながら、互いに協力しあって、対話と参加参画による特色ある学校づくりを推進することをねらいとしています。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ① 運営協議会会議運営について

本校では運営協議会の会議（学校参画委員会）を年間5回開催しています。そのうちの4回は拡大参画委員会として、民生委員や地域の各団体の代表者などを含めた約30名を加えて開催しており、より多くの地域の方の意見を学校運営に反映できるように工夫しています。また、5回のうちの2回を昼間に開催し、子どもたちの授業の様子を見ていただいたうえで意見をいただく機会をもつようにしました。

#### ② まちかど音楽会

本校の校区は古くから商店街として発展してきました。地域の方々の学校に対する愛情も大変深い地域でもあります。そこで学校公開など、地域の方々を学校に招く取組を行っています。平成23年からは、子どもたちが地域に出かけるという発想で、「まちかど音楽会」と名付けた



音楽会を、校区の特徴である商店街のアーケードの中で開催し、運営は地域からボランティアを募り、企画段階からご協力をいただいています。

令和2年度より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としていましたが、本年度4年ぶりに10回目を保護者・地域の協力のもと開催することができました。子どもたちは学校を支えてくださる方々への感謝の気持ちをこめて商店街中に歌声を響かせました。また、6年生は自分たちが作成したポスターを商店街や地域の人たちに掲示を依頼するなど、日頃学校を支えてくださっている地域の方々とふれ合う機会をもつことができました。

この取り組みを通して児童が、たくさんの人に支えられていること、地域の中に自分がいることを実感できました。

#### ③ 防災教室

今年度も自治会の協力を得て、5年生が防災教室にのぞみました。担架づくり、発電機の使い方、土嚢の作り方を体験したり、非常持ち出し袋の必要性について考



えたりしました。日常的について防災に意識を持つことの大切さや、いっどこで災害に遭遇しても自分ができることは何かを考える良い機会となりました。

本年度も、地域住民の意見を教育活動に反映し、外階段を使用した校舎屋上への避難訓練を実施し、津波対策の防災訓練を行いました。加えて学校参画本年度は、

委員会の中で、防災ボランティア代表の意見を中心に地域の防災について啓発や情報共有をしていただき意識を高める機会となりました。そして、2学期に実際に学校での避難訓練に防災ボランティアの方に参加していただき、児童の避難の様子から指導助言をいただきました。

#### ④ 「中部西小学校の今と昔」

学校参画委員の方に来校していただき、3年生が本校の今と昔の様子について学習しました。前半は明治時代から現代までの本校の歴史を、写真や地図をプロジェクターで投影してわかりやすく説明していただきました。本校のシンボルである“むくの木”が3回も場所を変えながら大切にされていることがよくわかりました。



後半は本校の郷土資料室にある昔生活で使用していた道具を実際に触って、道具の使い方を学ぶことができました。

#### ⑤ 平和学習



敬老会を中心とした地域の方々に、6年生が平和学習の取組として戦争当時のお話を聞かせていただいています。ゲストティーチャーとして来ていただいた方は、当時小学生だった方が多く、戦争の厳しさを、自分たちの視点でとらえやすい機会となりました。四日市空襲を経験している方たちからの貴重なお話は、児童にとって深い学びの時間となりました。

#### ⑥ 「ふれあい！グラウンドゴルフ」

老人会の方々に来校していただき、2年生がグラウンドゴルフを体験しました。当日は、早朝より老人会の皆様に準備等ご協力いただきました。授業では、2時間目に学年そろって基本の打ち方を教えていただき、3時間目と4時間目には、それぞれ学級ごとに、子どもと敬老会の方とゲームを楽しみました。各グループに敬老会の方がついていただくことで、どの児童も、老人会の方々とふれあいを楽しむことができました。その後、子どもたちはかかわった方へ手紙を送り、交流をさらに深めることができました。



#### ⑦ ふれあいパトロール

子どもたちの下校時に、交通安全及び防犯の観点から、地域みんなで見守り声を掛け合うことを通して、子ども



たちとより親しい関係を築き、コミュニケーション豊かな地域づくりにつなげることを目的としています。現在、約60名の地域の方にボランティアとして登録していただき、年6回の下校時の見守り活動、授業・クラブ・委員会での学習支援、また、年9回の読み聞かせボランティアとして1年間お世話になりました。



家庭科などの実習で学習支援員に入っていただくことで、より安全に配慮した指導を進めることができました。さらにクラブ活動では、茶道やバドミントンなどで専門的に支援をしていただくことで、子どもたちが興味関心をさらに広げることができました。

## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果



学校評価における保護者アンケートの項目「保護者や地域の方々、ボランティアなどの協力を得た教育活動や体験活動の充実に努めている。」に98%の保護者から肯定的な評価をいただきました。学校参画委員会が中心となって声掛けを行っている学校支援員の取組が評価されたものだと思います。

また、参画委員会では、登校の危険箇所について状況を伝えたところ、より活発に意見交流や提言をいただき対応について検討することができました。

本校の取組の大きな特徴である「参加参画型教育活動」においては、「防災教室」、「グラウンドゴルフ」、「中部西小学校の昔と今」等に地域の方の協力を得て、子どもたちにとって楽しく深まりのある学習を行うことができました。「まちかど音楽会」は4年ぶりの開催となりましたが、企画段階から地域のボランティアの方に参加していただきました。学校と地域が連携してきた積み上げがあったからこそ無事開催することができました。

このような学校行事をはじめ、日常の教育活動においての地域の方々の見守りと協力があることで、児童は地域を大切に思う気持ちが高まり、職員は地域とともに学校を運営していく意識がより高まることを感じています。

## 3 今後に向けて

学習用タブレットを活用した協働的な学習の場面が増えており、参画委員の方々に参観していただくことができました。アンケート機能や発表ノートを活用して考えを交流しながら学習を進めていることに感心していました。参観後の話し合いでも、タブレットの活用方法や家庭学習での利用方法について伝えました。

一方で、児童の安心安全についての課題をご指摘いただきました。校区内の危険な運転する車や、下校の様子課題、子どもたちが帰宅する時刻などについての情報交換が行われました。学校も保護者も地域も、7年前に起きた子どもの交通事故を忘れず、子どもたちを取り巻く環境整備について、常に安心安全の意識を持ち、対応に努めていこうと確認しました。



コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、まちかど音楽会をはじめ、様々な行事を、本校PTAである「むくの木会」など多くの地域関係者や関係機関と連携しながら実施することができました。その取り組みの中で学び、経験を重ねることで、その一つ一つを通して、支えてくださっている方々へ感謝し、そして、自分や学校・地域に夢や目標を持ち、未来を考え、思いを新たにする機会となりました。学校参画委員を学校教育活動の中心に据え、地域の方々に支えていただくことで、未来へつながる継続した取組にしていきたいと思えます。今後も、地域・保護者と学校が一体となり、しなやかな心を持ち、主体的に行動できる児童を育む中部西小学校の在り方を探っていきます。

四日市市立中部西小学校

委員長 中村 裕行

校長 小林 ゆかり

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回学校参画委員会 (拡大委員会) ふれあいパトロール	学校ビジョンの確認と本年度の方向性について 下校見守り
6	春の学校公開 ふれあいパトロール	参加参画型授業 下校見守り
7	第2回学校参画委員会 (拡大委員会)	【午前開催】 ・子どもたちの授業の様子を参観後意見交流。 ・登校の危険個所についての情報共有。 ・春の学校公開の報告 ・1学期の教育活動の報告。
8		
9		
10	ふれあいパトロール	下校見守り
11	秋の学校公開 ふれあいパトロール まちかど音楽会	参加参画型授業 下校見守り 地域ボランティア保護者ボランティアの運営による商店街での音楽会開催。
12	第3回学校参画委員会 (拡大委員会)	・本年度の教育活動の進捗状況 ・秋の学校公開の報告 ・まちかど音楽会の反省
1	ふれあいパトロール 第4回学校参画委員会	下校見守り 【午前開催】 ・子どもたちの授業の様子を参観後意見交流 ・学校評価報告・意見交流 ・来年度の学校づくりビジョンについて
2	ふれあいパトロール 第5回学校参画委員会 (拡大委員会)	下校見守り ・学校営業者評価報告 ・本年度の成果と課題について報告 ・学校づくりビジョンについて
3		

